

登壇者略歴

眞田 幸尚（さなだ ゆきひさ）

所属 役職

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 福島研究開発部門
廃炉環境国際共同研究センター 環境影響研究ディビジョン
環境モニタリンググループ グループリーダー



-
- 2000年：核燃料サイクル開発機構（日本原子力研究開発機構の前身組織）に入社
再処理施設の放射線管理の現場にて、放射線モニタリング機器の開発や許認可業務に従事。
- 2006年：新潟大学の社会人博士課程において理学博士を取得。
- 2011年：福島事故直後から、福島で環境モニタリング業務に従事。現在に至る

[主な業務内容]

- ・原子力規制庁受託事業「東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故に伴う放射性物質の分布データの集約」とりまとめ
- ・無人の移動体の用いた放射線モニタリング手法の開発
- ・トリチウムモニターの開発
- ・被ばく評価技術の最適化
- ・有人のヘリコプターを用いた航空機モニタリングの開発

[委員]

- 2020年～：原子力規制庁放射能測定法シリーズ改訂検討委員会委員
2021年～：浪江町除染検証委員会委員

[受賞歴]

- 2017年9月公益社団法人計測自動制御学会論文賞武田賞受賞
2017年3月一般社団法人日本原子力学会技術賞受賞